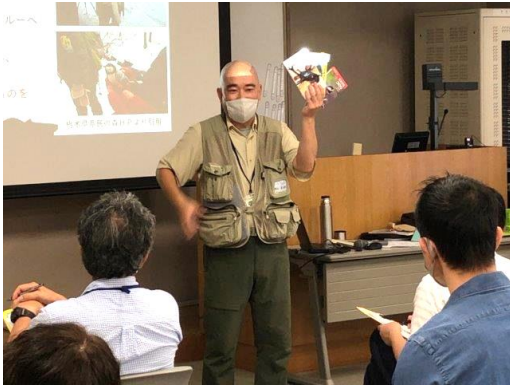


わかりやすく&たのしく伝えよう！ 解説技術講座 開催しました！



- 日時 令和2年9月12日（土）13：00～16：30
- 会場 香川大学研究交流棟6階 第一講義室
- 講師 横山 昌太郎 氏
【森林インストラクター、博士（農学）】

9月12日（土）、香川大学研究交流棟にて、かがわ里海大学修了生であり、森林インストラクターとして活動されている横山昌太郎さんを講師に迎え、「わかりやすく&たのしく伝えよう！解説技術講座」を開催しました。



はじめに、受講者が、今日の講座に参加した理由を互いに発表しました。「他団体でボランティアをしているが、人数が集まらない。楽しみを伝える手法を学びたい。」、「これから始める自身の活動に生かしたい。」、「将来先生を目指している。楽しく伝える手法を学びたい。」、「講師自身に興味があり、参加した。」など、様々な目的を持って参加されていることがわかりました。

まず、「コミュニケーション」について、わかりやすく楽しく伝えるためには何が必要なのかを学びました。笑顔、しゃべり方、声のトーンなど、初対面で話をする際、相手に「安心感」、「信頼感」を与えることが重要だとわかりました。情報伝達時には、聴覚情報が38%、視覚情報が55%であり、言語情報はわずか7%であるとの実験結果も例に挙げ、相手に正しく伝えるための言葉以外の伝達方法の重要性を教わりました。

ここで、受講者同士の緊張をほぐすための「アイスブレイク」として、自己紹介を行いました。おたがいの顔が見えるように、全員で輪になって行いました。

続いて、情報伝達のゲームを2種類行いました。

- ①言葉を使わずに、ジェスチャーのみで次の情報を伝える
・誕生日の月日 ・好きな食べ物
- ②紙に書かれた図形を言葉だけで正確に伝える



ジェスチャーで伝えるゲームでは、伝え方のルールから考えなければならず、受講者は苦心していました。図形を言葉で伝えるゲームでは、大きさや位置関係まで正確に伝えるのが大変でした。ゲームを通して、言葉の役割や、正確に伝える事の難しさを体感しました。また、「AさんとBさんの娘と話をした。」という文章を例に挙げ、解釈が何通りもできてしまう言葉のあいまいさについて考えました。

「インタープリテーション」というキーワードについても学びました。「インタープリテーション」とは、直訳すると「通訳」のようですが、単なる情報の提供ではなく、直接体験や教材を通し、事物や事象の背後にある意味や関係を明らかにすることです。

その後、横山さんが森のガイドで実際に使っているツールを見せてもらいました。横山さんが着る1着のベストから、ガイドブック、解説ファイル、観察用具、メモボードなど、たくさんの物が出てきました。ガイドの用いるツールは、参加者が直接体験できないことを補うことができることでした。また、ガイドが自らの体験を話すことによって、参加者の共感を引き出すことも有効とのことでした。



※講師がガイドで実際に使っている「磁気式メモボード」



※講師がガイドで実際に使っている野鳥の羽の現物

講座を通じて、横山さんは笑顔で、平易な言葉で語りかけてくれたので、わかりやすく & たのしく理解することができました。